

令和元年度
(2019年度)

市立ひらかた病院の取り組み実績

<部の構成>

診療局、看護局、薬剤部、医療安全管理室、医療相談・連携室、
事務局（経営管理室総務課、経営管理室経営企画課、医事課）

1. 重点施策・事業

(1) 健全な病院経営

方向性

病院経営の健全化を図るためには、収益の拡大や経費の抑制による経営の効率化が必要不可欠であることから、これまでの取り組みの更なる強化を図りつつ、様々な視点から検証・検討を加えて新たな策を講じるなど、持続可能な経営基盤を構築するための取り組みを進めます。

取り組み

1. 消化器センターの立ち上げ

本院に、消化器内科と消化器外科を統合した『消化器センター』を新たに設置し、内科医・外科医が1つのチームとして専門性の高い医療を、他の医療スタッフとの緊密な連携のもとに行うことで、がんを始めとした消化器疾患全般に対し、幅広く包括的に対応します。

これにより、一人ひとりの症状に最も適した質の高い医療を提供することとなるほか、患者の皆さんにとって受診時の負担軽減が図られ、また地域の医療機関からの紹介や救急患者の受入れも、より迅速な対応が可能となります。

この消化器センターを本院における診療の柱として、様々な媒体を利用して積極的にPRすることにより、救急患者の受入や手術件数を増加させ、収益の改善にも繋がります。

2. 外部コンサルタントの活用

病院経営に関して豊富な知識や経験を持つ外部コンサルタントを活用し、院内に設置する「緊急経営改善チーム」との連携のもと、院内の各部署に対し、個別具体的な目標を設定した上で、その達成に向けた実効性のある取り組みを進めます。

3. 地域連携の更なる推進

本院が地域の中核となる急性期病院としての責務を果たすため、引き続き、地域の診療所への訪問を計画的かつ積極的に行い信頼関係を築くことで、紹介患者の増加に努めつつ、引き続き「地域医療支援病院」の承認を見据え、紹介率及び逆紹介率の向上について職員の意識徹底を図るなど、地域の医療機関との業務連携の更なる強化に取り組みます。

《目標値》

紹介率 : 65%以上

逆紹介率 : 70%以上

	<p>4. 医師の確保による収益力の向上 収益向上には診療体制の充実が必要不可欠であることを踏まえ、今後も引き続き、医師について、効果的な収益構造を構築するための適材な配置を検討しつつ、積極的な確保に努めます。</p> <p>5. 医療機器等の更新計画の新たな策定 将来にわたり、安定的な運用に資するため、新病院建設時に購入した医療機器に加え、これまで新たな医療サービスを行うにあたり購入した医療機器などの更新年度を見据えた年次的な「更新・保全計画」を新たに策定します。</p> <p>6. 医療情報システムの更新 導入後7年が経過する電子カルテシステムを更新します。更新にあたっては、医師等の職員によるインシデントの発生リスクを抑えるとともに、効率的な医療事務を充実させるシステムを構築します。</p>
実績	<p>1. 消化器センターの立ち上げ がんを始めとした消化器疾患全般に対し、幅広く包括的に対応できるよう平成31年4月より、新たに「消化器センター」を設置しました。 消化器センターを、本院の診療体制の柱として充実させ、持続的な経営努力を重ねることで、地域に根ざした市民から信頼される病院であり続けるよう努めました。</p> <p>2. 外部コンサルタントの活用 院内に設置する「緊急経営改善チーム」との連携のもと、院内の各部署で目標を設定し、その目標の達成に向け、それぞれの部署とディスカッションを実施し具体的な取り組みを進めました。</p> <p>3. 地域連携の更なる推進 地域の医療機関との信頼関係の強化が重要と考えていることから、地域の医療機関への訪問を市内だけでなく隣接する市まで範囲を拡大し、顔の見える関係の構築に向け、取り組んでいるところです。</p> <p>4. 医師の確保による収益力の向上 効果的な収益構造の構築には、医師のさらなる増員が必要であるため、大阪医大に対して積極的に要望するなど、必要数の医師の確保に取り組みました。</p> <p>5. 医療機器等の更新計画の新たな策定 新病院開院時に整備した医療機器等について、年次的に更新を行うため、基幹機器の「更新計画」を策定しました。</p> <p>6. 医療情報システムの更新 9月20日から21日にかけて、電子カルテシステムの更新作業を行いました。更新にあたっては、事前に医師等の職員への説明会等を実施し、インシデントの発生リスクを抑えるよう努めました。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

2. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
10. 病院事業会計の経営健全化	病床利用率 85%の達成を目指すなど、病院一体となって種々の取り組みを進めることで、経営の健全化を図ります。
実績	平成 31 年 4 月に「消化器センター」を本格稼働させるとともに、緊急経営改善チームと専門知識を持った経営コンサルタントによる、各診療科医師とのミーティングを実施し、基準となる診療科ごとの目標数値達成に向けた取り組みや課題等について議論するなど経営改善に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
33. 公立病院改革の推進	病床利用率 85%の達成を目指すなど、病院一体となって種々の取り組みを進めることで、経営の健全化を図ります。
実績	平成 29 年 3 月に策定した、「市立ひらかた病院改革プラン」について、中間報告を取りまとめ、北河内二次医療圏において果たしてきた医療機能と、経営改善の取り組みの進捗状況について検証し、必要な修正を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
病床利用率の向上	85%以上
実績	手術件数の増加、救急搬送患者の積極的な受入を行い、78.6%となったが、目標には達成しませんでした。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
紹介率・逆紹介率の向上	紹介率 65%以上、逆紹介率 70%以上
実績	逆紹介状の作成について、院内医師への周知を図り作成件数を増加させたことと、新型コロナウイルスの流行により、新規患者が減少したため紹介率 53.6、逆紹介率 79.0%となりました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
手術件数	300 件／月
実績	手術件数の増加の増加に向け、各診療科と調整を行い手術予約の内部ルールを改正し、増加にとりくみ年間平均で 288 件／月となりました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
緊急患者の積極的な受入	応需率 100%
実績	救急搬送患者の受入は、公立病院の責務であることを再認識し、積極的な受入を行うよう、医師看護師に周知し 応需率 88.6%となっています。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆医療機器等の保守委託料について、複数年契約により金銭的及び保守内容の充実が図れるものについては、引き続き、積極的に複数年契約の締結を行います。

実績	医療機器等の保守委託については、複数年契約により金銭的及び保守内容の充実が図れるものについては、積極的に複数年契約の締結を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆医療機器の購入については、更新年度を見据えた年次の「更新・保全計画」を新たに策定するとともに、個別の医療機器の費用対効果等をしっかりと見極めた上で更新します。

実績	医療機器の購入にあたっては、医療機器等整備委員会において、各機器の必要性や費用対効果を踏まえて更新機器の選定を行っています。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆本院が「災害医療センター」として位置付けられていることから、災害時においてその状況に応じて被災地域の内外を問わず、救命医療を最優先とする迅速かつ適切な医療救護活動を担えるよう、また、平成 30 年度の大阪北部地震や台風 21 号での経験を、今後の災害対応に活かせるよう、本院における「災害対応マニュアル」の改訂を行います。
また、マニュアルの改訂を行いつつ職員の危機管理対応能力の向上や浸透を図るため、災害医療訓練を実施します。

実績	本院における「災害対応マニュアル」の改訂に向けた取り組みを進めています。 また、令和元年10月および12月に災害医療訓練を実施し、職員の危機管理対応能力の向上を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆昨年度に引き続き、職員に期待される業務の達成度や能力を評価し、能力の開発や人材育成、さらには働きがいのある職場づくりに役立てることを目的に、全職種に対して人事評価を実施します。

実績	職員の能力の開発や人材育成等に繋げるため、全職種を対象として人事評価を実施しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆モチベーションの向上や組織の活性化を図るため、経営に関する貢献度や、他職種からの多面評価の結果も処遇に反映される、よりメリハリの効いた評価制度を医師に対して実施します。

実績	評価項目や評価点等の見直しを行うとともに、経営に関する貢献度や、他職種からの多面評価の結果も反映させた人事評価を医師に対し実施しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆医療サービスの充実のための接遇研修や、風通しの良い職場風土の醸成を図るためのハラスメント防止研修など、本院にとって有用な研修を定期的・継続的に実施します。

実績	医療サービス充実のため、医療安全に関する研修を実施したほか、良い職場風土の醸成を図るため、ハラスメント防止研修やメンタルヘルス研修を全職員を対象に実施しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

5. 広報・情報発信

- ◆本院が地域の中核病院として住民から選ばれる病院となるよう本院の魅力や診療活動等の情報を積極的に発信します。

＜主な取り組み＞

(1) ホームページの充実

各診療科のページの充実や各診療科におけるドクターの紹介など、より本院に親しみをもってもらえるよう、引き続き、内容の刷新に取り組めます。

また、ホームページ以外にも、地域の診療所を対象に配布する冊子「かわせみ」の定期的な更新など、本院の魅力を発信していくための様々な手法について検討します。



(2) インスタグラムの有効活用

若年層を中心に、自由で親しみやすい病院と感じて貰えるよう、インスタグラムを活用し、積極的に本院の魅力をアピールします。

(3) 関西外国語大学との連携による活動

学生の独創的なアイデアを活用しつつ、近隣地域を盛り上げ、地域に根ざした病院を目指すため、関西外国語大学と連携したイベント等を実施します。

(4) 出生カードの掲示

本院に愛着を持ってもらうため、関西外大とのコラボレーションにより作成した、新生児の出生カード「本院で生まれた赤ちゃんたち」を院内に掲示します。

実績	全診療科ページの内容の見直しやInstagramを活用することで、本院に関する最新の情報を提供できるよう努めました。また、関西外国語大学と連携した企画では、イベントの実施や、出生カードの掲示・発信など、学生ならではの柔軟な発想を生かして、当院の魅力をアピールできるよう取り組みました。
	取り組みに対する達成状況